

<2030年のSDGs達成に向けた経営方針と目指す姿>

・地域の皆様の安心・安全な生活基盤の達成に向け、インフラの維持管理と事業活動を通じて地域社会の発展を目指します。
・環境対策への取り組みとして低騒音型・低振動型・排出ガス対策型建設機械の使用を徹底し、SDGsの達成に向けて積極的に貢献する企業を目指します。

<SDGsに関する重点的な取組み及び指標>

三側面 (分野に☑)	SDGsに関する重点的な取組み	指標 (更新時に向けた数値目標)
☒ 環境 ☐ 社会 ☐ 経済	低騒音型・低振動型・排出ガス対策型建設機械の使用	対策型建設機械の使用率 2023年 100% 2026年 継続
☐ 環境 ☒ 社会 ☐ 経済	従業員の教育研修計画の実施	教育研修計画の実施 2023年 1回 2026年 5回以上
☐ 環境 ☒ 社会 ☒ 経済	外国人実習生の受け入れ	外国人採用の有無 2023年 無し 2026年 1名以上

<パートナーシップ>

協力企業や自治体との定期的な情報交換を実施し、本業を通じて地域の発展に貢献し、社員一人一人が自然環境も含めた環境保全の意識を高め、働くことへの目的意識を醸成します。

・「SDGsに関する重点的な取組み」には環境・社会・経済の三側面の全てについて、重点的な取組みを記載してください。なお、取組みが複数の分野に該当する場合は、それぞれの分野にチェックを入れてください。
・「指標(更新時に向けた数値目標)」には、それぞれの取組みに対する「目指す姿」の実現を念頭に、更新時までの数値目標を記載してください。
・「パートナーシップ」には、企業やNPO法人、行政など関係機関との連携を記載してください。